

# ISPACS2017 参加報告書

作成日 2017年11月15日

群馬大学大学院 理工学府 理工学専攻 電子情報数理教育プログラム  
修士1年 福田 雅史

学会名： IEEE International Symposium on Intelligent Signal Processing and  
Communication Systems 2017 (ISPACS 2017)

開催場所： Wanda Realm Xiamen North Bay Hotel, Xiamen, China.

開催日： 2017年11月6日～2017年11月9日

## [参加目的]

- ・自身の研究成果を発表し、得た感想や意見を今後の研究に役立てる。
- ・海外の学生・研究者の研究発表を聴き、専門分野についての理解を深めるとともに、他分野への視野を広げる。
- ・異国の文化・生活・人々に触れ、自身の知見を高める。

## [発表論文]

タイトル： OP-AMP SIZING BY INFERENCE OF ELEMENT VALUES USING MACHINE LEARNING

著者： Masafumi FUKUDA, Nobukazu TAKAI, Tsukasa ISHII

## [旅程]

11/5 (月) 成田空港発 厦門空港着 会場視察

11/6 (火) 学会参加

11/7 (水) 学会参加 論文発表 Banquet

11/6 (木) 学会参加 Social-Program

11/10 (金) 厦門市観光

11/11 (土) 厦門空港発 成田空港着

## 学会

この学会は中国厦門市 Wanda Realm Xiamen North Bay Hotel で開催されました。学会名にある通り、信号処理や通信システム分野の研究成果をプレゼンテーションし合い、研究をより有意義なものとするのが目的です。1日目と2日目に行われた、大学の研究者らによる Keynote Speech は全て機械学習や Deep Learning に関連した内容であったことから、これらに対する関心が高いことが窺えました。



会場ホテル中庭にて(あいにくの曇り空)



Keynote Speech

[発表]

私の発表は二日目のセッション[Analog, Mixed-signal, and RF Circuits & Systems II]の最後に行われました。人生で初となる海外での論文発表に緊張しましたが、無事最後まで発表することができました。英語での質問応答は非常に苦勞し、言葉に詰まってしまう場面も多くありました。この失敗をバネにして、より英語能力を高めていきたいと感じました。



プレゼンテーション中



発表会場前での Coffee Break



## 観光

学会も無事終了した中国滞在最終日、天候にも恵まれ、中国人留学生の案内で廈門市を観光することにしました。我々が向かったのは廈門でも一番の観光地コロンス島（鼓浪嶼）。歴史のある島で、欧米列強時代の洋館などが今でも残っています。島へはフェリーに乗って渡ります。渡島後、歴史ある町並みを眺めながら観光スポットをまわりました。そして、島西部の「風花雪月魚村」で蟹や魚を使った美味しい海鮮中華料理をいただいた後、島の西側から海岸沿いに南面を回りました。島最高峰の「日光岩」ではコロンス島全体と本土の街並みが見渡せます。夜は夕食を島内のレストランでいただいた後、本土の商店街で買い物を楽しみました。とても活気に溢れた街です。

Banquet での食事



フェリー出航！

Banquet にて伝統楽器の演奏



昼食は皆で海鮮中華



島南東の風景（日光岩より）



島最高峰の日光岩



洋風建築が残る夜の露店街



夜は本土の商店街で買い物

# 食

中国といえば何と言っても中華料理。この6日間で堪能することができました。中華料理の特徴といえば大量の唐辛子を使ったものが多いこと。そこで、私が驚いたもの、非常に美味しいと思ったものを紹介します。



唐辛子とキャベツの炒めもの、美味!



厦門の郷土料理、土筍凍。検索注意!



中国定番、焼米粉。やさしい醤油味



東坡肉! 口の中でとろける



ラー油の海に魚や貝が…旨辛い!



厦門定番、牡蠣のお好み焼き

最終日、ホテルの近くの茶器屋さんに立ち寄りしました。日本には見られないような形の茶器や金運が上がりそうなカエルの置物があり、思わず購入。帰り際、お店の女主人さんにお茶をご馳走していただきました。中国式のお茶の入れ方は日本とはまた違った入れ方で、飲むたびにお茶の味が変化し、何度も楽しむことができました。味も香りももちろん最高! 英語も通じず、なかなか意思を伝えるのが難しい状況でしたが、身振りやスマートフォンの翻訳機能を使うことでなんとかコミュニケーションをとることができました。言葉が伝わらないからといって交流を避けるのではなく、伝わらなくても精一杯努力することが交流の重要な第一歩であることを学びました。



店主さんと記念写真、再見!

## 学会を終えて

私にとって、これが初の海外、そして初の国外の学会発表と初めてのことづくしでした。渡航前は、言語・文化・生活の違う海外での滞在に不安もありました。しかし、今回の渡航・学会発表を通じて、むしろ自分の知らない世界に飛び込んでいくことで世界が広がること、また、「住めば都」という言葉があるように実際にその場に行って生活してみるとそのような心配は瑣末なものであることを学びました。皆と一緒にこの学会に参加することができて本当に良かったと感じます。この経験から学んだことを今後の人生に役立てていきたいと思います。

## 謝辞

まず、このような機会を用意し、最初から最後まで尽力して下さった小林先生、本当にありがとうございました。先生のお声がけがなければ、この機会自体無かったものと思います。

続いて、林先生、滞在先のホテルの予約や現地でのタクシーの手配、最後にはたくさんのお土産までいただいて、本当にありがとうございました。本当に頼もしい先生、そして先輩です。

そして、現地で我々と一緒に学会で発表し、観光をして下さった小堀先生、ありがとうございました。先生の軽快なトークでより楽しい旅となりました。

次に、この学会に論文を投稿・発表するにあたり様々なアドバイスを下さった高井先生、お影様で無事発表を終えることができました。ありがとうございました。

また、滞在中、中国の案内や店での通訳をして下さった、中国人留学生の熊さん、建龍さん、孫さん、姚さん、本当に感謝です。皆さんがいなければこんなにも楽しめなかったでしょう。太谢谢你了!!

最後に、傘さん、この学会を運営して下さい下さった華僑大学の皆さん、現地の方々、そして、共に楽しんだ小林・高井研究室のみんな、本当にありがとうございました。この経験は一生の宝です!

